

第3回嘉麻市千手・泉河内地域小さな拠点施設整備等審議会 会議要録

1. 審議会等の名称 第3回嘉麻市千手・泉河内地域小さな拠点施設整備等審議会
2. 開催日時 令和4年11月29日(火) 19時00分～20時20分
3. 開催場所 嘉麻市役所 5階 委員会室2
4. 公開または非公開の別 公開
5. 非公開の理由 (会議を非公開とした理由)

6. 出席者

(1) 委員

井原委員 飯島委員 福山委員 縄田委員 益田委員
橋本委員 山田委員 大屋委員 安河内委員 荻原委員 森田委員
※欠席委員：石川委員

(2) 事務局

総合政策課長 大村 輝生 総合政策課長補佐 松隈康典
地域活性推進係長 山口宏彰 企画調整係 児玉直人
地域活性推進係 伊藤奈津

7. 傍聴人数 1名

8. 議題及び審議内容

(1) 第1回及び2回会議要録について

(事務局) 第1回及び第2回会議要録についてご意見等あればお伺いしたい。

(委員) この審議会は録音しているのか。第2回会議録の発言について、『～実現性のある施設とした方がよい』と記載があるが、『慎重に審議する必要がある』といった発言であった。改ざんしないようにしていただきたい。

(事務局) 録音したものを聞き取りながら会議要録を作成しているが、委員の発言の意図をくみ取れていなかった。確認して修正する。

事務局より参考資料1-1、1-2について説明。

(委員) 規模が大きいように思うが、財源はどのように確保していくのか。

(事務局) 全体事業費は施設規模などが決定した後に見えてくるが、補助金が5割程度、残りは国から借り、そのうち7割程度は国から別途補填があるため、実質市の負担としては2割程度となる。

(委員) それは建設費であり、運営の補助はないのか。

(事務局) ランニングコストで最適な補助はないのが現状である。

(委員) 運営で赤字が出た場合、市から補填してほしいと前回お伝えし、極力補填するとの回答であった。赤字の施設もあると思うが、整合性をしっかり見極めてほしい。

(2) 審議会スケジュールについて

(事務局) 現在全5回のスケジュールとしているが、残り2回で答申まで終わらない場合はあと数回審議が延長となる可能性があるため、委員の皆様にご意見を伺いたい。

(会 長) 事務局説明のとおり審議延長の可能性についてご意見等あるか。

(※意見等なし)

(会 長) 審議延長の可能性も含め了承とする。

(3) 千手・泉河内小さな拠点運営イメージについて(資料11)

事務局より資料11について説明。

(委 員) 農産物販売所、避難所・集会所・防災設備、食堂(レストラン)、駐車場・イベント広場は決定したのか。皆様の意見を聞いて4つの施設が必要かどうか審議するのではないかと。また何も決定していないのに配置について審議するのはどういうことか。千手・泉河内地域のコミュニティを醸成するにはどのような施設が一番望ましいのかを審議・議論するものである。

(事 務 局) 説明不足であったが、委員の言われるとおりと思っている。先ほどの説明を踏まえた上で施設機能の可否、施設の規模も含め審議をお願いしたい。

(委 員) 別の資料では施設が決定され、配置をどうするかということになっている。

(事 務 局) コンサルと打ち合わせ中、配置を先に決めないと後々変更するのが難しいという話であった。ゾーニングを先に決めてもらい配置を基にさせてもらって施設規模を決定していければと思っている。

(委 員) まず施設を決めて配置というのが先ではないか。何のための審議会かわからない。

(事 務 局) 配置決定する上で施設の必要、不必要は出てくると思うがこの資料のとおり決定するものではない。全体的な配置イメージとして提案させていただいたものである。

(委 員) 地元委員会の意見の積み上げにより必要な施設を絞ってきたと思うが、レストランと同じように農産物直売所は賃借料はいらないのか。

(事 務 局) カッホー馬古屏や道の駅うすいと同じような取り扱いを想定している。指定管理者が運営しているが全体的な運営費、売り上げを差し引いた赤字を指定管理料として市が支払っているところである。全体的な収支をみて赤字部分を補填しているような状況。

(委 員) 市の補助があるのは良いことだが、利益を追求するのが商売。初めから赤字といわれるとやる気をなくしてしまう。

(事 務 局) 現在道の駅の必要機能として農産物直売所やレストランは必須ではない。他施設でもフードコート形式が多くなっておりホールスタッフは不要なため多少ハードルも下がる。

(委 員) コンビニなど誘致して場所代を請求したらよいのでは。コンビニのなかに農産物直売コーナーを設けるのもよい。交通量も以前の倍くらいになっていると思うので、大化けするかもしれない。

(事 務 局) コンビニ誘致は難しいと思うが、ICTを活用したドローンによる配達も全国で広がっている。DX技術の推進として取り入れるのも良いのではないかと。

(委 員) 大手のコンビニがくるというより、地元運営になるということか。

(事 務 局) 基本的には生活必需品が買えるような施設を地元で運営していただき、買い物に行く事が出来ない方には先ほど申したとおりドローンなどを活用するのも手である。

(委 員) 地域の活性化に向けて具体的にどのようなようにしたいかだと思ふ。

(委 員) 地元委員会では、まず地域交流を絶やさずというところで地域の活性化にどうつなげ

るかを議論してきた。純農村地帯で野菜出荷者も多く、レストランは雇用の創出といった観点から地元でも話を進めていった。

(委員) 他にないような道の駅であってほしい。

(委員) よくテレビで見かけるような廃れたものになりたくない。何度も来ていただけるような場所を目指したい。現在は地域運営組織のリストアップを行っている。

(委員) 防災道の駅を名乗るのであれば、防災グッズが購入できたりスタッフの防災知識が豊富だったりとか何か特化したものがあれば別の場所から視察などにもくるのではないかな。実際に防災グッズはどこで購入したらよいかわからない。

(事務局) 道の駅は選定条件をみたしているが、防災道の駅となると国の綿密な指定が必要になる。また、近隣ではうきは市に防災道の駅があるが、今後同じような施設は出てくると推測する。防災機能はあるが防災道の駅として認定されるかはハードルが高い。自主防災の取り組みも進めている。

(会長) トンネル関係で避難場所に指定できるかどうかがあったと思うが調べてみてはどうか。

(事務局) 確認する。

(委員) 千手・泉河内地域に何が必要かと考えたときに、公民館機能と近年の大規模災害に備えて高齢者や小さな子供を守るための避難所機能は重要である。レストランや農産物直売所は市内に類似施設がある。交通量が増えたというがトラックが主である。朝、夕は通勤者が多いが日中はそれほど通っていない。レストラン、農産物直売所は個人的に必要性は感じていない。防災設備を備えた避難所は、県外などから視察に訪れるような、県内でも誇れる立派な防災センターとした方が知名度もあがる。広場や公園も維持管理費がかかるだけ。市が税金で維持管理することになるため、嘉麻市の財政状況を考えてほしい。

(委員) 避難圏は大力、千手地域になるのか。

(事務局) 避難者は千手・泉河内地域全体でハザード地域に入っているのが 467 名。全ての人々が避難してくるわけではないので 1/8~1/10 として 50~60 名収容可能な施設としている。

(委員) 駐車場は 2500 m²必要とあるが要件は満たしているのか。

(事務局) このあとの審議で説明する。(駐車場は 2500 m²以上あり、要件は満たしている)

(4) 千手・泉河内拠点施設配置の比較検討について (資料 1 2)

事務局より資料 1 2 について説明。

(委員) 先ほど委員が言われたように防災設備を備えた施設のみでいいのか、レストランや農産物直売所を含めた施設であるか決定した方が良いのではないかな。

(委員) 地域の意見をそのまま反映ではなく、審議会で練る必要がある。

(委員) 災害はいつ起きるかかわからないが、防災設備を備えた施設だけではもったいないように思う。防災も大事だが、土地を活かしたものがいい。

(委員) 地元の意見でもレストラン機能など入れることに不安はあった。しかし地域の活性化につなげるにはどうしたらよいかと考える中、道の駅が目玉となるのではという話であった。第三者的な審議会であるため、必要ではないと思う施設について地元とは違った視点として意見をいただくことは重要である。

- (委員) 田川から秋月まで食事する場所もない。大隈にはあるが駐車場がないため止められない。
- (委員) もしレストランを入れるなら、レストラン機能だけでなくお弁当を置いたり購入して帰れるようなものがあればよいのでは。また子ども食堂などもあれば地域の交流も活発になるのではないか。
- (委員) 農産物直売所のコンセプトとして買い物支援があったとおもうが、何かしらのサイズ感の指針が必要と思う。地元の買い物支援が主か、もしくは道の駅として外部から多くの人を呼び込むのが目的かで違ってくる。人を呼び込むのであれば道の駅うすい程度のサイズ感が必要である。
- (会長) 配置計画の際、わかりやすさ、入りやすさが非常に重要である。専門家から見たときにどこの入り口が安全で入りやすいか、施設を一体化とするならばどの配置がベストであるかをまとめてもらってはどうか。
- (事務局) 配置案や規模感などご意見いただいたものを踏まえ、いくつかの案を提示、検討する。
- (委員) B案はあまり好きではなく、子どもを持っている身とすれば広場と施設が対角になっており危険ではないか。また動線に駐車場があるのも個人的に気になる。
- (委員) 近年ツーリングやクラシックカー所持者が道の駅駐車場などでミーティングなどを行っているため駐車場を分けた方がよいのでは。来客者と混同しないほうがよい。
- (委員) 一般の道の駅の場合、補助金が国と自治体で別である。施設一体であれば今回は難しいのでは。それらも含め整理いただきたい。
- (委員) 施設の大小は別にして、公民館、避難所を主とした防災施設とするか、レストランや農産物直売所も含めた施設とするのか決定した方がよい。
- (事務局) 会長とも打ち合わせの上進行についても協議し、委員から提案があった内容も踏まえて整理したい。

(5) その他

- (委員) 具体的な場所がよくわからない。
- (事務局) 場所がわからない方がいれば、事務局がご案内する。

9. 配布資料

- ・資料② 第2回千手・泉河内地域小さな拠点施設整備等審議会 会議要録
- ・資料11 千手・泉河内小さな拠点運営イメージについて
- ・資料12 施設配置比較検討表